

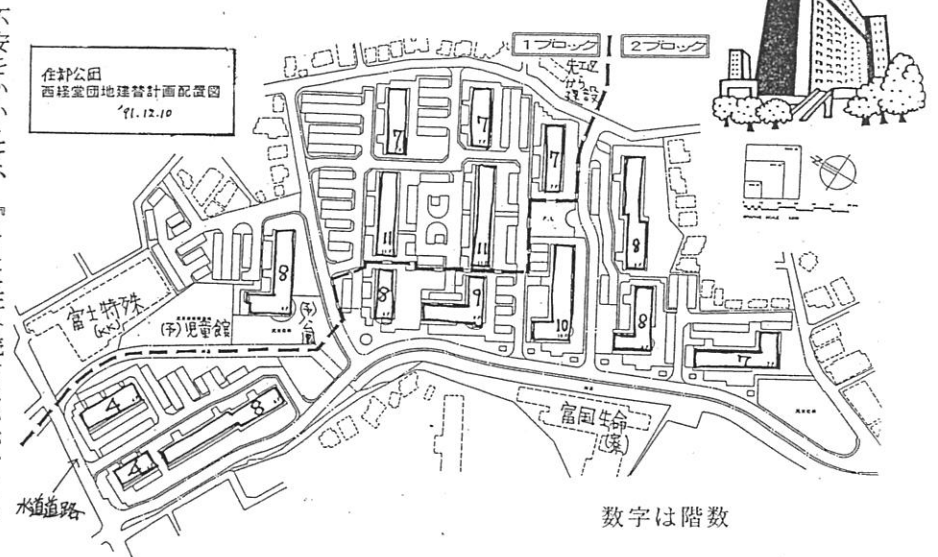
西経堂団地建て替

日本一高い家賃の公団住宅出現

西経堂団地（六六〇世帯）は、一九五八（昭和三三）年入居、以来三三年、団地居住者の生活を支えて来たばかりでなく、児童館・学童保育などの子どもと親にとっても大事な施設を支えて来ました。今ではいつでも花の咲いている緑いっぱい団地として、多くの地域住民に親しまれて来ました。団地の緑や行事でここを訪れる人達はおよそ十万人を越えています。この団地が国の『公共投資拡大』事業とゆくゆくは、公団の民営化を目ざす政策のもとに一挙に建て替える事業の対象としてあげられ、昨年十月二十五日をもって、約二年後には何らかの形で立ち退きを迫られることになりました。

図のような配置をみると、道路・公園・児童館集会所の配置が大幅に変更されるばかりでなく、最高階十一階建てでも導入され、全計画戸数八八〇戸という大規模な計画となっています。駐車場も入居の六〇％の数を見込んでいるため、現在の落ち着いた緑の環境を維持するためにどうしたらいいのか、重要な問題がおこっていきます。

国や公団の方針は、多くの戸数をいれると同時に土地代を現時点で再評価し家賃の積算に入れるという方式を固持しているため、一㎡あたり三万円をこえる『日本一高い家賃』（3LDK約二十万）が出現することになりました。一般勤労者にも手の届かない家賃を示され、居住者は先行き



不安をかかえて、『ここに住み続けたいが、こんな高い家賃では住み続けられない。』『住み続けられる途を何とかしてつくりだそう。』と、自治会を中心に公団と交渉を続けているところです。安心して住み続け、地域にとっても素晴らしい環境づくりが課題となっています。

(K・M)

西経堂団地 周辺の声



- ▼ テレビの映りはどうですか。
電波障害の心配がもっとも多い。
希望丘団地ができた時には、船橋四丁目と船橋六丁目地区に有線が敷設され、現在も利用されている。
- ▼ 工事中の交通安全対策を十分にすること。歩行者優先、子供やおとしよりの交通事故がないように十分な対策を立てること。
- ▼ 交通渋滞がおきないように。
周辺の道路は狭い。工事用の大型車がどんどんはいつてこられると周辺の車はビクビクしなければなら
- ▼ 工事中のほこりの発生に気をつけてほしい。
- ▼ 七階・八階・九階・十階・十一階は、周辺の環境に合わない。五階以下にしてほしい。
- ▼ 造成地には、一方通行のない広い道路を作ってほしい。
- ▼ 工事中も一般車が通れるようにしてほしい。
- ▼ 船橋児童館は休まないで！
- ▼ このあたり唯一の桜並木を残してほしい。
- ▼ いきこさは起こさないで！

(N・I)

駅前放置自転車追放 クリーンキャンペーン実施

十月二十八日午前、千歳船橋駅周辺で、放置自転車等の防止を呼びかけるクリーンキャンペーンが、身近なまちづくりの安全部会、美化清掃部会の協力のもと行われました。のぼり旗を立てたり、啓発用チラシを配布したり、三八〇台の違反放置自転車に警告ビラを取り付けました。駅周辺には、駐輪場も少なく放置自転車が後を断ちません。安全や環境上、大きな問題を生じています。1キロ以内の人はできるだけ歩くようにしたいものです。

